

平成 2 6 年 第 1 2 回

武蔵村山市教育委員会定例会

平成 2 6 年 1 2 月 1 8 日

武蔵村山市教育委員会

平成26年第12回武蔵村山市教育委員会定例会

1. 日 時 平成26年12月18日(木)

開会 午前 9時31分

閉会 午前10時23分

2. 場 所 武蔵村山市役所4階 401大集会室

3. 出席委員 高橋勝義 土田三男
本木益男 島田妙美
持田浩志(教育長)

4. 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	中野 育三	学校教育担当部長	榎並 隆博
教育総務課長	松下 君江	教育施設担当課長	比留間光夫
指導・教育センター担当課長	小嶺 大進	学校給食課長	神山 幸男
文化振興課長	山田 義高	スポーツ振興課長	指田 政明
図書館長	乙幡 孝	指導主事	勝山 朗
指導主事	西原 英治		

5. 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策グループ 内田 朋英
橋本真奈美

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 協議事項
- 5 その他

◎開会の辞

○高橋委員長 それでは、本日の会議に際し3名の方からの傍聴の申出がありましたので、武蔵村山市教育委員会会議規則第33条の規定に基づき会議の傍聴を許可しましたので、報告いたします。

本日の出席委員は全員でございます。

これより平成26年第12回武蔵村山市教育委員会定例会を開会いたします。

◎議事日程の報告

○高橋委員長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりでございます。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高橋委員長 異議なしと認め、配付のとおり決定いたします。

◎日程第1 会期の決定

○高橋委員長 日程第1、会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高橋委員長 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 前回会議録の承認

○高橋委員長 日程第2、前回会議録の承認についてを議題といたします。

本件はこれを承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高橋委員長 異議なしと認めます。

よって、本件は承認されました。

◎日程第3 教育長報告

○高橋委員長 日程第3、教育長報告を議題といたします。

教育長より諸般の報告を願います。

教育長。

○持田教育長 それでは、教育長報告をさせていただきます。

第1点目でございますが、平成26年第4回市議会定例会、一般質問対応状況についてでございます。

資料1を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育部長から報告いたします。

○高橋委員長 中野教育部長。

○中野教育部長 それでは、平成26年第4回市議会定例会一般質問対応状況について御説明申し上げます。

資料1を御覧ください。

第4回市議会定例会は、12月2日から12月19日までの間、開催されております。一般質問につきましては、12月5日、8日、9日、10日の4日間にわたりました。

教育委員会関係の質問につきましては、14人の議員の方々から、18項目の御質問がございました。質問に対します答弁要旨等につきましては、資料のとおりでございます。

なお、1ページの田代議員、一般質問の第1項目、学校教育についての2点目、給食費の未納件数と未納額の対応の中で、学校給食における中国産食材についての再質問がございました。内容は、先般、週刊誌で学校給食に中国産食材が使われているという記事が掲載されていた。記事によれば、本誌は使用実績なしとのことであったが、安い給食費で賄うために、今後、中国産食材も使っていくというような考えはあるのかという再質問でございました。

答弁につきましては、私、教育部長が、中国産食材については広く国内に流通しており、中国産であるから特別に危険であるといった認識はもっておりませんが、これまでの報道などから中国産食材を不安視する方が多くいらっしゃると思っております。また、杉並区では、週刊誌の記事により保護者の不安が広がらないようとして、保護者に対し、当面、代替可能な食材については中国産の食材を使用しないこととします、などとする文書を配布したとのことでございます。もともと本市の学校給食では、地場産、国産の食材を中心としているところであり、保護者に不安があるという状況の中で、あえて中国産を使用することは考えておりません、と答弁をいたしております。

その他の質問要旨につきましては、後ほど資料で御覧いただければと存じますので、どう

ぞよろしくお願いいいたします。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、2点目でございます。

平成26年度、教育関係表彰者等一覧についてでございます。

資料2を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

○高橋委員長 松下教育総務課長。

○松下教育総務課長 それでは、平成26年度教育関係表彰者等一覧について御報告をさせていただきます。

お手元の資料2を御覧いただきたいと存じます。

初めに、国の表彰の関係でございますが、優れた「地域による学校支援活動」推進に係る文部科学大臣表彰を、市立第八小学校ふれっチャ・クラブが地域による学校支援活動に対して12月8日に表彰を受けました。

功労及び功績はお手元の資料のとおりでございます。

続きまして、東京都関係についてでございますが、東京都教育委員会表彰（健康づくり功労）として、第八小学校学校歯科医の比留間修一氏が11月27日に表彰を受けました。

続きまして、東京都教育委員会職員表彰につきましては、個人表彰45歳未満の教職員では、第八小学校、嶺井勇哉主任教諭が校務分掌（研究）の推進に対して、雷塚小学校、野田喜嗣主幹教諭が校務分掌（研究・行事）の推進に対して、45歳以上の教職員では、第二小学校、岩渕美香主幹教諭が保健指導の充実に対して、第七小学校、押本絵里主幹教諭が社会科教育の推進に対して表彰されます。

また、個人表彰の管理職では、第十小学校、榊尚信校長が学校経営に対して表彰されます。

次に、団体表彰では、第五中学校、第二小学校、第八小学校及び第十小学校が、小中連携による言語能力向上の推進に対して表彰されます。

なお、表彰式は1月22日の予定となっております。

また、今年度の東京都教育委員会職員表彰の全体の表彰者数でございますが、個人につきましては小学校が54名、中学校が37名、団体につきましては、小・中学校合わせて9団体となっております。

次に、公益社団法人東京都教職員互助会によります第11回ふれあい感謝状21を、小中一貫校村山学園がやってみかんパニーの活動に対しまして、また、第五中学校が女子ハンドボ

ール部の活躍に対しまして表彰されます。

なお、表彰式は1月9日の予定となっております。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、3点目でございます。

平成26年度東京都公立学校長、教育管理職、4級職選考及び主任教諭選考の結果についてでございます。

資料3を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、学校教育担当部長から報告いたします。

○高橋委員長 榎並学校教育担当部長。

○榎並学校教育担当部長 それでは、平成26年度東京都公立学校長、教育管理職、4級職選考及び主任教諭選考の結果について御報告申し上げます。

まず、校長選考でございますが、村山学園中学部、関屋副校長が合格をしております。

教育管理職選考合格者、A選考でございますが、今年度も第二小学校、赤坂主任教諭、同じく第二小学校、田中主任教諭の2名を出すことができました。これにつきましては、昨年度も2名のA選考合格者を出しており、今年度から2名とも市の教育委員会で指導主事として活躍をしております。今年度も2名のA選考を出すに至りましたことにつきましては、東京都全体で管理職選考受験者が減少している中、特筆すべきことであるかなというふうに考えております。

4級職選考につきましては、合計7名の合格者を出しました。この中で、第二小学校、今井主任教諭、第九小学校、青山主任教諭につきましては、それぞれ今井教諭が社会科、青山教諭が音楽科の指導教諭としての選考合格ということになってございます。

続きまして、主任教諭選考合格者でございますが、今年度は10名の合格者を出すことができました。この主任選考につきましては、将来の管理職選考につなげていくための初めの第一歩であるということで、人事部からも強くこの選考についての推薦をいただいているところでございますので、今年度も10名を出すことができたことにつきましては、学校それから教育委員会の人材育成の成果かなというふうに認識をしております。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、4点目でございます。

平成26年度和文化教育第11回全国大会武蔵村山大会の開催結果についてでございます。

資料4を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

○高橋委員長 小嶺指導・教育センター担当課長。

○小嶺指導・教育センター担当課長 それでは、平成26年度和文化教育第11回全国大会武蔵村山大会の開催結果について御説明いたします。

本大会は平成26年11月21日、22日の両日にわたりまして、武蔵村山市立小中一貫校村山学園において開催をいたしました。

大会当日は、受付において村山学園の和太鼓クラブによる迎え太鼓を行い、オープニングアトラクション、基調講演、シンポジウムを初め、市内全小・中学校から、1つの学級若しくは1つの学年が集まって行いました授業実践、児童・生徒による発表、研究発表、そして最後に、日本の歴史文化研究家の白駒妃登美先生による特別講演を行いました。

また、授業実践におけるゲストティーチャー、体育館における写真やみこし等の展示など、地域の多くの皆様に御協力をいただきました。

参加者につきましては、和文化教育学会市内教職員を初め、保護者、地域の皆様、学校関係者を含め、全国から多くの皆様に御参加をいただきました。2日間で延べ1,254名の方に御参加をいただきました。

本市の小・中学校におきましては、これまでの日本の伝統や文化、東京都や武蔵村山市の歴史や風土について学ぶ機会の充実を図ってまいりました。本大会を通して、各学校の取り組みを広く全国に発信することができたものと考えております。

今後とも、今大会の成果を生かし、子供たちが伝統や文化、先人に対する感謝や畏敬の念を育む機会のさらなる充実を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、5点目でございます。

平成26年度「武蔵村山市教育のつどい」の開催についてでございます。

資料5を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

○高橋委員長 同じく、小嶺指導・教育センター担当課長。

○小嶺指導・教育センター担当課長 それでは、平成26年度「武蔵村山市教育のつどい」の開催について御説明をいたします。

この事業の趣旨は、児童・生徒が自らの体験や読書、人との関わりなどを通して学んだり考えたりしたことを発表し合い、より良い生き方について学び、将来に対する夢を育むこと、

そして教職員や保護者、地域の方々が子供たちの発表や講師の講演を聞き、子供に対する理解を一層深め、地域と学校が一体となって子供たちを育てる環境づくりを進めることとございます。

統一テーマでございますが、本年度は「本当におもしろい 本当に美しい ～不思議がいっぱい 自然に学ぶ～」といたしました。

日時は、平成27年1月17日土曜日、午後1時から午後4時まで。会場ですが、さくらホール大ホールで実施をいたします。

第1部として児童・生徒表彰、第2部として各小・中学校の代表児童・生徒による意見発表、第3部として国立極地研究所教授、伊村智様による講演を行います。

おめくりいただきますと、第2部で行います意見発表を行う児童・生徒及び題名の記載しております。

教育委員の皆様には御参加を賜りますよう、よろしく願いをいたします。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、6点目でございます。

学校給食炊飯委託業者における食中毒の発生についてでございます。

内容につきましては、学校給食課長から報告いたします。

○高橋委員長 神山学校給食課長。

○神山学校給食課長 それでは、口頭で御報告を申し上げます。

本市の小学校給食の炊飯業務を委託しておりますシントミフーズ株式会社立川工場において、食中毒が発生するという事案がございました。

事案の内容、経過等でございますが、この業者が12月1日に八王子市内の私立学校に、弁当とともに提供したクラムチャウダーを食べた生徒など34人から、翌2日にかけて腹痛、下痢などの症状の訴えがあったため、この業者が直ちに保健所に連絡をし、保健所の調査が入ったということでございます。

学校給食課では、12月2日の午後に、この業者から食中毒の疑い事例があったとの一報を受けました。その時点では、この業者が原因の食中毒かどうかは分かりませんでしたが、念のため、翌12月3日以降に予定をしておりました炊飯業務について、急遽これまでも取引のある東京都学校給食会指定のイチマツ食品という業者に変更することといたしました。

他市では、直ちに対応ができず御飯をパンにかえたところ、また、もともと弁当給食であったため給食を停止することとなった市もあったようでございますが、本市では業者を変更

することができましたので、翌日以降、予定通りの献立を提供させていただいたところでございます。

その後の保健所の調査により、患者が共通して食べたものはこのクラムチャウダーしかなく、また患者の糞便から食中毒の原因菌であるウェルシュ菌が検出されたということで、保健所では当日提供されたクラムチャウダーが原因の食中毒と断定したということで発表がございました。

なお、この業者は多摩地区の弁当給食なども請け負っておりますが、ほかの配送先では食中毒のような症状を発症したケースはなかったということでございます。

また、今回の原因につきまして、業者に詳しく問い合わせをしましたところ、このクラムチャウダーは前々日に調理したものを一旦冷凍し、それを再加熱したものであったということで、冷凍までの温度管理が適切でなかったためウェルシュ菌の増殖を招いたものと考えております。

一方、本市が委託している業務でございますが、炊飯業務ということで、今回のような作り置きということにはございません。また、炊飯ラインのある部屋と弁当の製造ラインがある部屋はそれぞれ分かれておりまして、この状況は以前にも確認をしております。さらに、ノロウィルスなどのように従業員を介しての食中毒ではないということで、炊飯に関しては問題はなかったものと考えております。

このシントミフーズにつきましては、12月4日から営業を自粛しておりましたが、東京都により12月8日から3日間の営業停止処分がなされ、この営業停止期間中、施設の清掃、消毒や保健所等による衛生講習を受けると聞いております。

12月11日には営業が再開され、弁当給食の学校など既に再開したところもあるようでございますが、本市の学校給食では、今月中はイチマツ食品に委託して対応することとしております。

1月以降につきましても、炊き込み御飯のように一部加工が入るものにつきましては、発注時期との関係もあり、既にイチマツ食品に委託することとしておりますが、白飯につきましては、半期ごとの契約となっており既に契約済みであることから、営業停止期間中の業者の対応状況などを確認し、問題がなければ再開する方向で考えております。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、7点目でございます。

「武蔵村山の生涯学習 平成25年度版」についてでございます。

資料は別冊になっております。資料6を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

○高橋委員長 山田文化振興課長。

○山田文化振興課長 それでは、別冊資料6で配付させていただいております「武蔵村山の生涯学習 平成25年度版」について御報告いたします。

「武蔵村山の生涯学習」は、本市の生涯学習事業の年度報告でございます。「武蔵村山の社会教育」として昭和62年度版から発行しているもので、平成13年度から「武蔵村山の生涯学習」に名称を変更しております。

平成25年度版では、生涯学習スポーツ課、国体推進室、図書館の所管する事業の実施経過について報告を行っております。また、資料として、教育委員会組織一覧及び教育委員会の基本方針に基づく主要施策・主要事業並びに生涯学習関連施設一覧を掲載しております。

表紙の写真につきましては、表紙それから市民憲章をおめくりいただきますと説明がありますので御参照いただきたいと存じます。

今後、生涯学習事業を推進していく上での参考資料として活用してまいりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、8点目でございます。

平成26年度第3回武蔵村山市小中学生百人一首大会の実施結果についてでございます。

資料7を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

○高橋委員長 山田文化振興課長。

○山田文化振興課長 それでは、平成26年度第3回武蔵村山市小中学生百人一首大会の実施結果について御報告いたします。

12月13日土曜日に、日本の伝統文化である百人一首の楽しさを伝えるとともに子供たちの豊かな心を育てることを目的に、総合体育館武道場において実施いたしました。

小学生の部は23チーム68人が参加し、源平戦という団体戦を実施いたしました。中学生の部は22人が参加し、個人戦を行いました。参加者の合計は90人となりました。校長先生を初めとする先生方、保護者等が見守る中、静寂のうちに熱戦が繰り広げられました。

成績につきましては、小学生の部が第一小学校チュッパチャップスチーム、中学生の部が第四中学校の小林理央さんが優勝いたしました。準優勝、3位につきましては資料にお示し

したとおりでございます。

教育委員におかれましては開会式、閉会式に御出席いただき、大変ありがとうございました。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、9点目でございます。

平成27年成人式の実施についてでございます。

資料8を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

○高橋委員長 同じく、山田文化振興課長。

○山田文化振興課長 それでは、平成27年成人式の実施について御報告いたします。

年が改まりました平成27年1月12日、成人の日に、さくらホール大ホールで実施いたします。

対象者は平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた男性397人、女性355人、合計で752人の新成人の方々でございます。

午前10時30分に受け付けを開始し、アトラクション、式典等を行い、午後0時30分頃に終了する予定でございます。

アトラクションは、ウィンドアンサンブルによる演奏と、恩師からのビデオレターの放映を行います。

記念品につきましては、本市の地場産業であります村山大島紬製の印鑑ケースと、スポーツ都市宣言記念タオルをお送りいたします。

式典に御出席いただきます来賓につきましては、裏面のとおりでございます。教育委員会関係では、教育委員の皆様を初め、社会教育委員、公民館運営審議会委員の方々にも御出席をいただくことになっておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、10点目でございます。

2014武蔵村山市スポーツ都市宣言記念第42回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催結果についてでございます。

資料9を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

○高橋委員長 指田スポーツ振興課長。

○指田スポーツ振興課長 それでは、2014武蔵村山市スポーツ都市宣言記念第42回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催結果について、報告をさせていただきます。

武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業として実施をいたしました本大会につきましては、12月14日日曜日に、総合体育館前をスタート、ゴール地点とする6区間、15.27キロメートルのコースで実施をいたしました。

教育委員の皆様におかれましては、年末の御多用の中、開会宣言、閉会式等に御出席をいただき、大変ありがとうございました。お礼申し上げます。

今回の大会は、過去最大規模の145チームの参加がございましたが、そのうち市内小・中学校の教職員チームも19チーム参加をいただきました。小学生の部、中学生の各部と合わせますと、市内小・中学校からは81チームと大変多くの参加をいただいたところでございます。また、特別参加チームとしては、姉妹都市長野県栄村から3チーム、そして横田基地から4チームの参加がございました。

部門別成績及び区間賞につきましては、資料裏面にお示しをしたとおりでございますが、今回の大会から第2中継所を第一小学校校庭に変更したことから、距離に変更があった2区、3区、5区、6区の区間記録は、区間新記録として扱うこととしております。よって、本大会の各部門の優勝記録が新たな大会記録にもなります。

なお、距離に変更がなかった1区では、中学生女子の部と小学生の部で区間新記録が出ております。中学生女子の部は、一中Bチームの石川優花さんで、従来の記録を19秒も上回っております。小学生の部では、七小5年、アスリーツ7の服部聖也君で、こちらも従来の記録を24秒も上回る好記録でございました。

今回の大会は、衆議院議員選挙投票日と日程が重なるという状況でございましたが、市選挙管理委員会事務局や各中継所、さらには沿道の交通整理に従事をしていただいた交通安全協会などに確認したところ、特に混乱はなかったと伺っております。沿道では多くの市民の方に応援をいただき、駅伝競走大会が盛大に開催できましたことを報告いたします。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、11点目でございます。

2014武蔵村山市スポーツ都市宣言記念ハンドボール大会の開催についてでございます。

資料10を御覧いただきたいと思っております。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

○高橋委員長 指田スポーツ振興課長。

○指田スポーツ振興課長 それでは、2014武蔵村山市スポーツ都市宣言記念ハンドボール大会の開催について報告をさせていただきます。

本年10月5日の武蔵村山市スポーツ都市宣言の記念事業といたしまして、ハンドボール競技のトップアスリートによる日本ハンドボールリーグ等を、平成27年2月22日日曜日に武蔵村山市総合体育館で開催する運びとなりました。トップアスリートによる競技を観戦できることは、市民に夢と感動を与えスポーツへの関心を高めることができるものと考えております。

日本リーグの武蔵村山市での開催につきましては、スポーツ祭東京2013武蔵村山ハンドボール競技会を開催した際に、それぞれのハンドボール協会から、武蔵村山市に日本リーグを誘致したいとの話題が出たことをきっかけに実現に至ったものでございます。主催は武蔵村山市、公益財団法人日本ハンドボール協会、日本ハンドボールリーグ機構でございます。主管は東京都ハンドボール協会、武蔵村山市ハンドボール協会。後援は武蔵村山市体育協会でございます。

事業の内容といたしましては、午前9時からスポーツ祭東京の記念大会として、武蔵村山市ハンドボール協会が実施をしております第2回武蔵村山市ゆりーと杯争奪戦高校生大会の男女決勝戦を行い、午後からは第39回日本ハンドボールリーグレギュラーシーズンリーグ戦として、豊田合成対トヨタ紡織九州、そして大同特殊鋼対トヨタ車体の試合を実施いたします。

リーグ戦終了後には、小・中・高校生を対象としたハンドボール教室を、前年度日本リーグ順位1位のトヨタ車体の選手に講師をお願いいたしまして、実施する予定でございます。

会場となる総合体育館には観客席がない関係から、臨時的観客席とスポーツコートを市が設置をいたします。

日本リーグ誘致に必要な費用や運営費等は、それぞれのハンドボール協会が負担することとなっております。午前中の高校生大会決勝については無料大会となっておりますが、午後開催をいたします日本リーグの試合については有料の大会となることから、チケット販売の方法等についても現在調整しているところでございます。

また、大会当日はハンドボールグッズや弁当などの出店も予定をしております。

以上でございます。

○持田教育長 続きまして、12点目でございます。

図書館及び地区図書館の臨時休館についてでございます。

資料11を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、図書館長から報告いたします。

○高橋委員長 乙幡図書館長。

○乙幡図書館長 それでは、図書館及び地区図書館の臨時休館につきまして御報告申し上げます。

資料11を御覧いただきたいと思います。

この臨時休館につきましては、図書館の所蔵資料の一斉点検のため、平成27年1月21日水曜日から2月7日土曜日までの間、図書館利用者の影響を考慮し2館ずつ行うものであります。表に記載のとおり、水曜日から土曜日までの4日間の日程で実施いたします。

なお、利用者への周知につきましては、1月15日発行の市報、図書館ホームページ及び館内ポスターの掲示により行うこととしております。

図書館からは以上です。

○持田教育長 教育長報告は以上でございます。

13点目のその他でございますが、特に報告等はございません。

○高橋委員長 それでは、ただいまの教育長の報告に対する質疑等があれば、お受けしたいと思います。

島田委員。

○島田委員 市議会の定例会の一般質問の中の高山議員の土曜授業なんですが、「学校の裁量により」となっていますけれども、土曜日は大体1年間で52日程度ありますが、日数の規定とかはございますか。

○高橋委員長 ただいまの件について。

もう一度それについて質問していただけますか。

○島田委員 土曜授業なんですが、年間授業時数を確保した上で、学校の裁量で行っているということなんですが、多い小学校では年間5日、中学校では年間8日とお答えしているんですけれども、その日数の上限、要は10日以内にしなければいけないとか規定はあるのか伺いたかったのですが。

○高橋委員長 榎並学校教育担当部長。

○榎並学校教育担当部長 東京都教育委員会の方では、この土曜授業については、基本的には推進をしております。その中で、多くとも月2回を限度に、保護者あるいは地域への公開を原則として設定することができるとしております。

本市におきましては、主に運動会、学芸会等の特活の行事、それから学校公開、それから学校によっては移動教室等の設定をしているというのが実情でございます。

以上でございます。

○高橋委員長 よろしいですか。

○島田委員 はい、大丈夫です。

○高橋委員長 ほかに。

土田職務代理人。

○土田職務代理人 一般質問の中にも御質問がされておりますけれども、近年グローバル化が進んだ社会の進歩、この言葉を聞いてからもうかなり時間が経過してきたような気もいたします。おかげさまで本市は、教育長を初め国際社会に理解がありまして、特にラオスとの交流、そしてハワイ州ホノルルとの交流と、非常に力が入ってきております。

今年も駅伝競走大会に、横田基地の中学生ですか小学生の高学年が参加されております。こういった交流を、国外に出て子供たちが直接肌で感じ取る国際理解というのも大変重要であると思っておりますけれども、まず初歩的な活動として、身近なそういった異国の人との交流というのもこれは非常に大事ではないかなと。たまたま市内にそういったエリアがありまして、そういった子供たちとの交流を積極的に進める気があるならば、いろんな角度からそういった交流ができるのではないかと、こういうふうに感じております。

先ほど言いましたように、駅伝競走大会にも来ていただく。そして、私どもの中学校へも行かれたと。横田基地内でのそういったスポーツ大会に出向いて、参加している、学校ごとに行って。で、非常に交流を深めてきたと。こういうようなお話も聞いております。

そこで、今回も大会に参加していただきまして、参加賞等をきっとお持ちをしていただいたと思います。大会に参加してゴールして、表彰式があつて、はい、さようなら、そういったことでお帰りになられたとは思いますが、せつかくの機会、チャンスですから、そういった子供たちとの交流をスポーツを通じて、競技だけではなくその後の時間帯を有効に使えるような事業を組み合わせたらどうだろうと。

もちろん、それには経費も必要でしょう。駅伝競走大会経費にその経費を盛り込むというのはなかなか難しいというような気もしますので、ぜひ、この一般質問でありますように、国際理解教育関係の経費として新たに持って、そういうところに使われたらいかがかと。来年度予算も一次要求が終わり、多分既に内示もあり、復活要求がされたかされないかの時期だと思います。まだまだ間に合うと思います。そういった意味で、こういった事業を進めて

いきたいというようなお気持ちがあるならば、そういった経費の獲得を目的としてスタートして、ぜひ市内の子供たちのまず身近なところから国際化、グローバル化に向けた勉強ができるように、そういう環境を整えていただきたい。こういうふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

○高橋委員長 教育長。

○持田教育長 地域の方の御尽力で、第一中学校の陸上部と基地の中の中学生との交流がこれまでも進んでおりまして、第一中学校の陸上部の生徒が基地の中を一緒に走るということも聞いております。大会当日の午後、今度は逆に、大会に参加した基地の中学生が第一中学校の方で、一緒に大会に参加した、同じコースを走った中学生と交流をしたというようなことも校長から聞いておりまして、少しずつですけれども、そういった身近な交流も進めているところでございます。

以上でございます。

○高橋委員長 土田職務代理者。

○土田職務代理者 学校独自で、PTAの人たちとか学校とか地域の人たちが、そういうようなことでバックアップをしてフォローされたというような御説明ですが、ぜひ教育委員会として積極的に予算化をしてその事業を進めていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○高橋委員長 榎並学校教育担当部長。

○榎並学校教育担当部長 今回の第一中学校の基地との交流でございますが、発端は学校運営協議会でございます。学校運営協議会の中で、こういった取り組みができますよというような提案を委員の方からいただいて、そこからスタートしたものでございます。

今回の駅伝大会終了後の交流等につきましては、いわゆる受益者負担ということで、それぞれお金を出し合って交流をしたということでございますので、今後、身近なところからというところで、今、教育長の方からも御発言ございましたが、予算化も含めて検討をしてみたいと考えております。

いずれにしろ、今回のことにつきましては、学校運営協議会の発信でしたので、そこで何とかというふうには考えたのですが、結論としてはちょっと足りなかった部分もございました。この内容を深めながら、今後検討させていただきたいと思っております。

以上でございます。

○土田職務代理者 よろしく願いいたします。

○高橋委員長 今、榎並学校教育担当部長のほうから話がありましたように、たしか一中の運営協議会の皆さんが大変な苦勞をしながら。バスは横田基地の方で負担をしたようですね、バス2台。バスで来ていますから、会場の方に。ところが、こちらは一中の方は、通訳の手配とか、一中運営協議会の皆さんが大変な苦勞をしながら配慮している。そういう事例が実はあるわけですね。

ただ、先ほど教育長が言ったように、終わった後に一中の生徒と体育館で卓球したり、いろいろな交流をその後にやったようでありますね。

だから、あえて申し上げれば、教育委員会もそれなりの、少しは予算のお願いを、今後は検討をしていただきたいなというふうに思います。

以上でございます。

何かありますか。

本木委員。

○本木委員 もうちょっと細かくお話ししますと、通訳は市内の方に御協力をいただきました。また、いろいろ学校と学校運営協議会と、私も少し協力させてもらったんですけども、予算の方も検討しまして。

当日、一中の方も陸上部だけではなくて、サッカー部とかいろいろ参加されたので、教職員も入れると120人ぐらいではないかということで、お弁当と唐揚げをちょっと用意して、それで食べた後、今ちょっと話出ましたが、まず、珍しいから習字をした方がいいんじゃないかということで、3メートル四方の紙を用意して大きな筆で書いたりとか、それぞれに横田基地の生徒に書いていただいたりとか。また、卓球というのはなかなかしていないみたいで、卓球をしたら、対抗戦で楽しく盛り上がってお帰りになりましたということを知っています。

ありがとうございます。

○高橋委員長 通訳は6人と言っていませんでしたか。

本木委員。

○本木委員 あとは、横田基地から保護者の方のチームも2チーム出たものですから、そちらの方も通訳で各中継所に入っていたということを知っています。

○高橋委員長 ほかはよろしいですか。

本木委員。

○本木委員 あと、私も見させてもらって、田口議員が一つ要望ということで、私も以前にも

話したことがあるんですけども、駐車場が狭いということで、大きな大会があるとグラウンドから出てもほかが使いなかつたりいろいろしているものですから、田口議員がちょうど一般質問をしているものですから、私の方からも、できれば駐車場の立体化だとか、今後、ハンドボールも日本リーグをやるなんていうことになると、なかなか公共のバスですとかというのは不便なものですから、ぜひ検討していただけたらありがたいなと思います。

それと、もう一つ、内野議員がトイレの洋式化ということ、学校で。やはり今、各家庭が洋式の方が多いので、子供が和式だと我慢して家まで帰ってきてしまうみたいな話も聞くんですね。なので、ぜひとも、計画はしているんでしょうけれども、洋式化の方をなるべく早く取り組んでいただければありがたいなと思いますので、要望ということでよろしく願いいたします。

以上です。

○高橋委員長 これに対して何かございますか。

特にないですか。

ほかはいかがでございましょうか。ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋委員長 それでは、質疑なしと認めます。

これをもって教育長報告を終わります。

◎日程第4 協議事項

○高橋委員長 日程第4、協議事項を議題といたします。

委員の皆様からの協議事項をお受けいたします。

よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋委員長 事務局からの協議事項をお受けいたします。

松下教育総務課長。

○松下教育総務課長 事務局からはございません。

○高橋委員長 それでは、これをもって協議事項を終わります。

◎日程第5 その他

○高橋委員長 日程第5、その他に入ります。

委員会の報告の御発言があれば、お受けいたします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋委員長 よろしいですか。

事務局からの報告があれば、お受けいたします。

松下教育総務課長。

○松下教育総務課長 武蔵村山市立学校教諭の人事上の措置について、1件報告がございます。

○高橋委員長 それでは、これは人事上の措置に関する報告でございますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書きの規定に基づきまして、秘密会で行いたいと思います。

これに御異議ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○高橋委員長 異議なしと認めます。

よって、秘密会とすることに決定いたしました。

ただいまから会議を秘密会といたしますが、ここで関係者以外の職員が退席いたしますので、暫時休憩いたします。

午前10時17分休憩

午前10時18分再開

○高橋委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

◎日程第5 その他 武蔵村山市立学校教諭の人事上の措置について

(日程第5 その他は人事案件のため、会議録は非公開)

◎閉会の辞

○高橋委員長 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって平成26年第12回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前10時23分閉会